

沼津市リノベーションまちづくりシンポジウム 2022 vol.2

～リノベーションまちづくり week@沼津～



OPEN NUMAZU
沼津駅南口の歩道と車道の
一部を使った社会実験



新仲見世商店街
アーケード撤去を契機とした
道路空間再編プロジェクト



あげつち商店街
コロナ禍による商店支援策で、
道路占用特例を活用したテラス営業



OPEN AIR NIGHT
旧国一南エリアで実施した
公共空間活用の社会実験



_for now プロジェクト
遊休物件の暫定利用で人や活動を集めるプロジェクト
「とりあえず」自由に使ってみることで新たな事業の可能性を探る

沼津市では、2015年から始まったリノベーションまちづくりの取組により、多くの事業や活動が創出されてきました。そのネットワークが広がり、沼津を楽しむ人たちが、市内のあらゆる場所で増えてきています。リノベーションまちづくりが単に遊休不動産の活用にとどまらず、より豊かで持続可能な地域を育むための、新しい展開を見せています。

一方、今後本格化する沼津駅周辺総合整備事業においては、ウォーカブル（居心地が良く歩きやすい）なまちを目指して新しい公共空間が生まれていきます。

公共空間の幸せな日常づくりに取り組むゲストをお招きし、沼津のまちとみちを考える講演会を開催します。

SCHEDULE

日時: 9月20日(火) 18:30～20:30 (開場 18:00)

会場: 沼津ラクーン6階 (沼津市大手町 3-6-1)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法を変更する場合があります。

PROGRAM

1. 開会
2. 沼津市における「まちとみち」
3. 講演「みちと生きる～創り育てるグランドレベル～」
コガネブリュワリー(株) 代表取締役 梶原 伸介氏
4. トークセッション
コガネブリュワリー(株) 代表取締役 梶原 伸介氏
(株)まめくらし 代表取締役 青木 純氏
(株)勝亦丸山建築計画 代表取締役 勝亦 優祐氏 (_for now 企画運営者)
(同) REIVER 代表 鈴木智博氏、古地 由莉香氏 (_for now 企画運営者)
5. 質疑応答
6. 閉会

APPLICATION

申込方法: 右記の QR コード (電話、e-mail も可)

申込期限: 9月20日(火)12:00

※会場の都合により先着 80 名とさせていただきます。

※参加費は無料です。



GUEST



梶原 伸介氏

コガネブリュワリー(株) 代表取締役 /
はりま家守舎(株) 代表取締役 / 合同会社 hyphen 代表社員

1976年神戸生まれ。2013年より coworkingスペース併設の設計事務所を運営しながら、コミュニティの育成と空間づくりに注力。一方で、姫路のメインストリートである大手通りの公民連携事業にも参加し、自らも沿道にクラフトビール醸造所を計画。クラウドファンディングでは681人から12,485,703円の支援を集めた。二度の社会実験を経て、令和4年度よりまちづくり協議会の一員としてほこみち占用をスタート。民地と一体化した道路空間の幸せな日常を目指している。



青木 純氏

沼津市リノベーションまちづくりアドバイザー
株式会社まめくらし 代表取締役 / 株式会社 nest 代表取締役 / 他

生まれ育った島田地区を舞台にリノベーションまちづくりやウォーカブルな公民連携事業に取り組む。南池袋公園 / グリーン大通りを舞台にして2017年から取り組む「REBUKURO LIVING LOOP」ではイベントからアート整備につながる、新たなまちの個性となる「まちなかリビングのある日常」を地元企業、商業施設、飲食事業者と共に育む。コミュニティが価値を育む「青豆ハウス」「高円寺アットメント」等の企画運営を通して主宰する「大家の学校」で愛ある大家の育成にも取り組む。2021年より国土交通省「ひと」と「くらし」の未来研究会 / コアアドバイザー、奈良公園公園マネジメント基本計画懇話会メンバー。



勝亦 優祐氏

建築家 / 株式会社 勝亦丸山建築計画 代表取締役

1987年静岡県富士市生まれ。静岡と東京の2拠点で建築、インテリア、家具、都市リサーチ、地域資源を活かしたプロジェクト開発などを行う。2012年工学院大学大学院工学研究科 木下庸子研究室修了。2012年より日建設計に勤務し、フリーランスとしても活動を開始。2013年に地元静岡県富士市の吉原商店街の立体駐車場をせんとアートフェス「商店街占拠」を立ち上げ、継接する廃墟ビルを「マルイデビル」として再生、商店街リサーチを行う。2017年からは都内の空き家を活用した西日暮里、秋篠、田端、日本橋でクリエイターのための4つのシェアハウス事業をスタート。2020年には日本橋区商店街リサーチを行い、webメディア「さんかく 商店街アップロード」を立ち上げた。2021年に静岡県富士宮市で山林を購入し、滞在拠点を計画。静岡県東京の2拠点で活動するワークライフを目指す。



鈴木 智博氏

建築家 / 合同会社 REIVER 代表 / TINY STAND / Tagore / 他

1986年東京生まれ。2010年慶應義塾大学理工学部卒業。2012年慶應義塾大学大学院修士課程修了(株島和世研究室)。株式会社MITT フォジリアーズに入社し、建築設計業務。まちづくり提案、PFI提案業務に携わる。2016年よりジャカルタにてデータセンターの設計、運営に従事。2018年遊休スペースの活用促進を目的とした木製屋台ブランド TINY STAND、2019年エアーマネジメント兼建築デザインの会社として合同会社 REIVER(レイバー)一級建築士事務所を設立。都市・まち・建築に関わるデザインによるコミュニティの再構築を目指し、事業企画や再開発プロジェクトを進行中。2019年沼津市戸田にまちづくり拠点としての宿泊施設「タゴールハーバーホテル」、2021年コーヒー焙煎所「アーキペラコ・ロースタリ」を開業。



古地 由莉香氏

合同会社 REIVER / 循環ワークス / 株式会社沼津通信

1992年沼津市出身。関西学院大学教育学部卒業。(株)星野リゾート・マネジメントにて地方再生の手法を学んだのち、空間デザインを学ぶべく建築・インテリア、植栽デザインを京都と東京の地で学ぶ。「人と環境」を自身の軸とし、現在は合同会社 Reiver、循環ワークス、(株)沼津通信等に所属しながらあらゆるかたちで自分の生まれ育ったまちへの還元を図る。